

地方創生  
関連事業実績シート  
(No. 1～34)

事業名

## 羽幌町総合戦略策定事業

## 【事業目的・概要】

第1次産業の振興による雇用の創出や住宅環境の整備による移住・定住者の増加等を目指す「総合戦略」を策定するため、必要な専門的調査を実施し、町民意見を反映させるための検討委員会を開催し、より実効性の高い総合戦略を策定する。

## 【事業内容（P）】

- ① 就労、子育て、出産、結婚等に関する町民意識を把握するためのアンケート調査の実施
- ② 総合戦略等の策定に係る検討委員会の開催

## 【事業費（D）】

- ① 旅費
  - ・離島在住委員の検討委員会への参加旅費
- ② 委託料
  - ・アンケート調査の実施

(単位:円)

計画額	事業費（実績）	交付金充当額
2,098,000	1,715,720	1,715,720

## 【効果検証（C）】

- ① 重要業績評価指標
  - 設定なし
- ② 事業の成果及び評価
 

幅広い世代を対象に、人口減少の課題として掲げられる「就労、子育て、出産、結婚」等に関するアンケート調査を実施したことにより、世代毎の想いや考え等を聴取し、人口ビジョンや総合戦略の策定に当たり、当該調査結果を有効に活用することができた。

人口ビジョンと総合戦略の策定に向け、産業団体や金融機関のほか、まちづくりに携わる各方面の参加による検討委員会を設置し、町民意見の集約や方向性等を踏まえた人口ビジョンと総合戦略を策定することができた。

## 【今後の事業予定（A）】

・策定された羽幌町人口ビジョンの目標達成に向け、総合戦略の実効性を確保するものとして、今後、羽幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会を設置し、的確なPDCAサイクルによる事業の推進とKPIの検証を行うほか、状況に応じて総合戦略の見直しを進めるものとする。

事業名

## 特産品魅力発信事業

## 【事業目的・概要】

本町は、水揚げ日本一を誇る「甘エビ」など豊富な地場産品に恵まれているものの、空港や大消費圏までのアクセスに不利な状況にあることから、他の地域に比べると効率的流通という面で課題を抱えている。このため、新たな冷凍設備の導入し、また、水産物をはじめとした地場産品を広く周知するイベントを継続して開催し、特産品の魅力発信と第1次産業の振興による雇用増を図る。

## 【事業内容（P）】

- ① 漁業協同組合による新たな冷凍設備や卓上ガスフライヤーの導入
- ② 甘エビをはじめとする地場産品の魅力発信のためイベントの開催
- ③ 町外で開催される食に関するイベントへの出店

## 【事業費（D）】

- ① 負担金補助及び交付金
  - ・北るもい漁業協同組合（急速冷凍施設、卓上ガスフライヤーの購入）
  - ・羽幌町観光協会（くるの杜出店、ホテルオークラプロモーション事業、北の恵み食ベマルシェ2015出店）
  - ・羽幌町観光協会（第5回はぼろ甘エビまつりの開催）

(単位:円)

計画額	事業費（実績）	交付金充当額
8,498,000	7,856,556	7,856,556

## 【効果検証（C）】

## ① 重要業績評価指標

指 標	指標値	実績
新規雇用者	3 名	0 名

## ② 事業の成果及び評価

新たな冷凍設備の導入により新商品の開発が進められて、当商品は、本年4月からふるさと納税の新たな返礼品として活用されるなど、導入効果が得られているところである。

また、本町イベントへの参加者は増加傾向にあることから地場産品に係る魅力発信は十分果たせたところであるが、イベントの継続性、マンネリ化への対応、更には参加者増に伴うイベント運営のためのボランティア等の確保等について検討する必要がある。

## \* 評価指標未達成の理由

今年度における取組は、商品開発にとどまり雇用増に直接結びつく製造及び販売にまで至らなかった。

## 【今後の事業予定（A）】

・地場産品を活用した新商品開発とこれらを対外的に広く認知してもらうためのPR活動は、バランスよく同時並行し進める必要があり、今後も地場産品による6次産業化の推進、新商品開発や販路拡大に対する支援を実施することにより新規雇用者の増加を目指すとともに、高いPR効果が期待されるイベントを厳選し羽幌町特産品の魅力PRを継続実施する。

## ■ 総合戦略への掲載

P8「活発な産業づくりにより元気なまちを創造する。」

- ① チャレンジ（起業・創業・第2創業等）支援事業（新商品の開発と販路拡大支援、6次産業化の推進）

P11「多くの人が集い魅力を感じられるまちを創生する。」

- ② 資源活用事業（魅力ある地域の創出、情報発信と宣伝普及活動の強化）

事業名

## スポーツイベント活性化事業

## 【事業目的・概要】

スポーツイベントの継続により活性化を図ることによって、スポーツ合宿等を誘致し交流者の増や消費活動の活発化による雇用状況の好転を目指し、UIターン者の増加や定住者の確保を図る。

## 【事業内容（P）】

- ① マラソン大会の開催とゲストランナーへの招聘
- ② 参加者のタイムを迅速かつ正確に測定する計測機器を購入

## 【事業費（D）】

- ① 負担金補助及び交付金
  - ・羽幌町スポーツイベント活性化事業実行委員会（オロロンマラソン大会、オロちゃんマラソン大会の運営）
- ② 備品購入費
  - ・スポーツ用タイム計測受信機購入
- ③ 報酬
  - ・マラソン大会時交通警備報酬（交通指導員）

(単位:円)

計画額	事業費（実績）	交付金充当額
10,100,000	9,420,407	9,420,407

## 【効果検証（C）】

## ① 重要業績評価指標

指 標	指標値	実績
大会参加者（平成26年比30%増）	360 名	457 名

## ② 事業の成果及び評価

2つの大会にゲストランナーとして谷川真理氏、猫ひろし氏を招聘し話題性を持って大会を開催したところ、固定化されつつあった参加者の中に初参加となる方が多く、大会終了後に開催する交流会においてもランナー相互の情報交換等が図られ口コミによる今後の参加者増が期待できる。今後は、大会を開催するだけでなく、開催結果等の詳細情報を広く提供するというフォローアップやスポーツ情報誌との連携などにより、大会情報の発信及び魅力を向上させる必要がある。

## \* 評価指標未達成の理由

ゲストランナーの決定までに時間が要され、大会実施に係る告知が遅くなったことにより、同日に開催された他市町村の大会へ参加者が流れてしまった。

## 【今後の事業予定（A）】

・実行委員会体制の強化、スポーツイベント活性化呼びかけ、冬のイベント活性化検討 など

## ■ 総合戦略への掲載

P11「多くの人が集い魅力を感じられるまちを創生する。」

- ② 資源活用事業（情報発信と宣伝普及活動の強化）
- ③ スポーツ・文化交流事業（誰もが参加できる機会の創出）

事業名

## 新生児誕生お祝い事業

### 【事業目的・概要】

新生児誕生のお祝いとして、本町焼尻島のブランド羊の羊毛を使用した新生児用布団等をプレゼントし、地域全体で子育てを応援するまちづくりを進めるとともに特産品の新たな活用方法を検討する。

### 【事業内容（P）】

- ① 出生届を提出し、新たに町民となった新生児に対し「めん羊布団」をプレゼント

### 【事業費（D）】

① 委託料

- ・ベビー布団作成業務
- ・羊毛洗浄及びミトン等作成業務

(単位:円)

計画額	事業費（実績）	交付金充当額
848,000	678,240	678,240

### 【効果検証（C）】

① 重要業績評価指標

指 標	指標値	実績
出生数（2013年出生数の維持）	40 名	54 名

② 事業の成果及び評価

廃棄する羊毛を地元任意団体が原材料化し、地元布団店が製品化した子供用布団を贈呈することで、まちぐるみで子供の誕生を祝い、新生児とその家族に温かい気持ちを届けることができた。

\* 評価指標未達成の理由

### 【今後の事業予定（A）】

・より良い物をプレゼントできるよう利用者等の意見を確認し、改良を重ね、今後も継続して実施する。

■ 総合戦略への掲載

P14「子育てのしやすい優しいまちを創生する。」

- ② こども・子育て支援拡充事業（子育て環境の充実）

事業名	<b>郷土芸能を活用した移住・定住事業</b>
-----	-------------------------

## 【事業目的・概要】

町内にある郷土芸能保存団体の伝統や羽幌神社例大祭等の歴史的背景を、観光事業と連携し町外へ発信することにより、住民に誇りや郷土愛を根付かせ、若者の定住やUターンを促進する。

## 【事業内容（P）】

- ① 地元郷土芸能団体の活動の周知
- ② 地元郷土芸能活動の活性化
- ③ 地元郷土芸能活動の保存

## 【事業費（D）】

- ① 負担金補助及び交付金
  - ・羽幌町郷土芸能団体保存育成実行委員会（周知及び活性化事業）
  - ・各郷土芸能団体（保存活動）

(単位:円)

計画額	事業費（実績）	交付金充当額
5,423,000	5,377,445	5,377,445

## 【効果検証（C）】

## ① 重要業績評価指標

指標	指標値	実績
郷土芸能団体への加入者（平成26年度比10%増）	400 名	334 名
高校卒業定住者数	10 名	0 名

## ② 事業の成果及び評価

郷土芸能団体の活動成果を発表する一つの機会となっている羽幌神社例大祭には、PR活動の成果もあって多くの方に足を運んでいただき、町内外の方々に郷土芸能を伝承する必要性を改めて理解されたところである。また、町を離れた若年層が羽幌神社祭に参加する姿も見受けられ、伝統芸能の保存に係る若年層の意識向上、後世に引き継ぐべき伝統芸能、例大祭であることを再認識することができた。

## \* 評価指標未達成の理由

郷土芸能団体への加入者数は前年比で若干減少している状況である。高齢等による脱退者が増える中、若年層の新規加入者が少ないことが主な要因となっている。H27年は郷土芸能団体に加入している高卒者のうち町内定住者数は0名であるが、団体に加入はしているものの、町外に居住している高卒者が多い状況である。

## 【今後の事業予定（A）】

・羽幌神社例大祭への参加、町民芸術祭及び道民芸術祭での舞台発表など

## ■ 総合戦略への掲載

P11「多くの人が集い魅力を感じられるまちを創生する。」

- ② 資源活用事業（情報発信と宣伝普及活動の強化）
- ③ スポーツ・文化交流事業（誰もが参加できる機会の創出）

事業名

## 町の魅力発信事業

## 【事業目的・概要】

観光イベントを開催、また、都市圏におけるイベント等へ継続して参加することにより、町の魅力を広く発信し、観光入込客や交流人口の拡大を図ることで、UIターン者や定住者の増加を図る。

## 【事業内容（P）】

- ① 宿泊施設におけるWi-Fiフリースポットの整備
- ② 魅力向上に伴う備品等の整備（無菌水発生装置・シーカヤック・シュノーケル）
- ③ 町外で開催されるイベントへの出店

## 【事業費（D）】

- ① 旅費
  - ・S-1 グランプリ参加
- ② 工事請負費
  - ・いきいき交流センターWi-Fi整備
- ③ 負担金補助及び交付金
  - ・羽幌町観光協会、同天売支部、同焼尻支部（ふるさとPRステージ、HTBイチオシまつり、飲食店マップ作成、天売ウニまつり事業、焼尻めん羊2015事業）
  - ・羽幌えびタコ焼き餃子推進協議会（ご当地グルメPR事業）
  - ・天売島おらが島活性化会議（紫外線水殺菌装置整備事業、離島体験観光メニュー造成事業）
  - ・羽幌炭鉱大同窓会実行委員会（羽幌炭鉱シンポジウム開催事業）

(単位:円)

計画額	事業費（実績）	交付金充当額
8,286,000	8,187,203	8,187,203

## 【効果検証（C）】

## ① 重要業績評価指標

指標	指標値	実績
観光入込客数（平成25年度実績+3,000名増）	96,600 名	96,600 名

## ② 事業の成果及び評価

都市圏で観光情報を発信することにより新たな顧客層の掘り起こしができた。また、離島の素晴らしさを地元民が再認識し受入体制が整理されたことによって、新年度からの新たな体験メニューの構築に努めることができた。

更には、多方面への情報発信により徐々に増えつつあるインバンドを受け入れるため必要不可欠とされているWi-Fi環境を整えることができた。

\* 評価指標未達成の理由

## 【今後の事業予定（A）】

・いきいき交流センターにWi-Fi環境が整備されたことから、指定管理事業者と連携しながら外国人観光客誘致に向けたPR活動を実施する。

都市圏でのPR事業については、交流人口の更なる拡大に向け、効率的かつ効果的な内容となるよう時期や場所を検討しながら、今後も観光協会と連携し実施する。また、天売島で造成された体験メニューが今年度から旅行者向けに提供開始されることから、交流人口の増加と雇用の創出や定住者の増加を図るため、観光協会とも連携し積極的にPR活動を実施する。

## ■ 総合戦略への掲載

- ② 資源活用事業（魅力ある地域の創出、情報発信と宣伝普及活動の強化）

事業名

## バラ園を活用した地域活性化事業

## 【事業目的・概要】

道の駅であるバラ園を町民ボランティアの参画により管理、運営するシステムづくりを構築することにより、バラ園の利用やバラを活用した商品開発等に結び付け、新たな魅力を発掘しUIターン者の増加や定住者の確保に努めるほか、道の駅（バラ園）を中心とした地域活性化を図る。

## 【事業内容（P）】

- ① バラに関する講習会の開催

## 【事業費（D）】

- ① 報償費  
・バラ講習会講師謝礼
- ② 需用費  
・参加者名札、剪定ばさみ購入
- ③ 役務費  
・事業実施に係る広告料、参加者保険料
- ④ 使用料及び賃借料  
・会議室借上料

(単位:円)

計画額	事業費（実績）	交付金充当額
331,000	253,939	253,939

## 【効果検証（C）】

- ① 重要業績評価指標

指 標	指標値	実績
講習会開催回数	4 回	4 回

- ② 事業の成果及び評価

季節に応じて必要となるバラの主な管理手法を町民へ伝達することにより、管理技術の向上が期待されるほか、町民主体のまちづくりへの足掛かりとすることができた。

## 【今後の事業予定（A）】

- ・町民ボランティアが活躍できる場として、事業内容を精査し継続実施する。

## ■ 総合戦略への掲載

- ② 資源活用事業（魅力ある地域の創出、情報発信と宣伝普及活動の強化）



事業名

## 食・商工業活性化事業

## 【事業目的・概要】

基幹産業である1次産業の底上げと活気が低迷する商工業の活性化方策の促進を図り、産業全体を活発にすることによって元気なまちを創生する。

## 【事業内容（P）】

- ① 町内農水産物の生産者や加工業者と、地域産品を使用又は販売する都市圏の取扱企業等のマッチングを目的として、DMの発送や無償サンプルの提供を行うとともに、意欲ある事業者等に対し各種商談会への出展や参加費用の一部を負担し、地元産品に対する評価及び意見を聴取し販路拡大を図る。
- ② 商工業発展のため、空き店舗の活用に必要な実態調査や不足業態（店舗）に関する要望の把握、又は、高齢化の進む事業者の継承支援セミナーや個別相談等を開催し、産業活動の活発化を図る。

## 【事業費（D）】

## ① 委託料

・食、商工業活性化業務

(単位:円)

計画額	事業費（実績）	交付金充当額
8,989,000	6,730,557	6,730,557

## 【効果検証（C）】

## ① 重要業績評価指標

指 標	指標値	実績
地場産品等の新規取引件数	60 件	2 件
起業等に紹介可能な空き店舗件数	10 件	3 件

## ② 事業の成果及び評価

新たな取引までに至った件数は少なかったものの、商談途中の商品があるほか、都市圏の飲食店に対し本町の地場産品を紹介できたことが、今後の販路拡大等に向けたきっかけとなった。また、企業の将来の経営方針等が把握できたことで、28年度から実施する羽幌町創業支援事業計画に基づく事業推進が期待できる。

## \* 評価指標未達成の理由

サンプル品の発送件数（85件）から高い関心が得られたものの、価格・味・販売ロット等当該企業等が求める要件を満たす商品が少なくマッチングまで至らなかった。

## 【今後の事業予定（A）】

- ・町内の地場産品の紹介は引き続きホームページ等を活用し、各助成制度を活用し販路拡大等に繋げていく。
- また、空き店舗についてもホームページ等を活用して情報提供していき、チャレンジショップ等の実施についても検討していく。

## ■ 総合戦略への掲載

P8「活発な産業づくりにより元気なまちを創造する。」

- ① チャレンジ（起業・創業・第2創業等）支援事業（空き店舗等の有効活用、新商品の開発と販路拡大支援、起業・経営支援、6次産業化の推進）

基本目標No.1	活発な産業づくりにより元気なまちを創生する。	分類	①チャレンジ(起業・創業・第2創業等)支援事業
施策・事業名	空き店舗等の有効活用		

## 【事業目的・概要】

空き店舗や空き地の積極的な活用により商工業の振興と街中の賑わいを創出する。

## 【事業内容 (P)】

- ① 空き店舗情報のデータベース化と情報発信
- ② 町民の需要に応じた起業者の誘致
- ③ 店舗改修、設備導入及び創業に係る支援（企業振興促進補助事業）
- ④ チャレンジショップの開設

## 【事業費 (D)】

## ① 委託料

・食、商工業活性化業務（業務の一部として、空き店舗提供情報の整理及びホームページを作成（現在、未公表））

※事業費は全業務分

(単位:円)

計画額	事業費 (実績)	交付金充当額
8,989,000	6,730,557	6,730,557

## 【効果検証 (C)】

## ① 重要業績評価指標

指 標	指標値	実績(H27)
空き店舗の活用件数(H27~H31計)	5 件	3 件

※毎年度の調書にはH27からの累計を記入

## ② 事業の成果及び評価

空き店舗の調査を行う同時期に、空き店舗を活用した起業及び第2創業として以下の3件が行われたところである。

調査結果に基づく空き店舗の活用には直接結び付かなかったものの、昨年活用された店舗については、町内の需用に応じた開業となり当該店舗の利用状況等からみると経営は順調に推移していると思われ、今後、このような取組を検討する方々に対し起業等に向けた可能性を与えることができた。

(H27活用状況)

旧携帯電話ショップ・・・飲食店、旧コンビニ・・・コインランドリー、学習塾、旧家電販売店・・・はり治療院

## 【今後の事業予定 (A)】

・創業希望者に空き店舗情報を提供し、ホームページ等を活用して空き店舗活用を促進していく。  
また、チャレンジショップ等の開設についても検討していく。

基本目標No.1 活発な産業づくりにより元気なまちを創生する。

分類

①チャレンジ(起業・創業・第2創業等)支援事業

施策・事業名

**新商品の開発と販路拡大支援**

## 【事業目的・概要】

地場産品の魅力の増大や企業の新たな取組に対し支援を行う。

## 【事業内容 (P)】

- ① 地場産品情報の都市圏への発信とマッチングの推進
- ② 商品開発に係る支援（企業振興促進補助事業）
- ③ 農商工連携による商品開発

## 【事業費 (D)】

## ① 委託料

・食、商工業活性化業務（業務の一部として、町内事業者と都市圏飲食店等とのマッチング事業を実施）

※事業費は全業務分

(単位:円)

計画額	事業費(実績)	交付金充当額
8,989,000	6,730,557	6,730,557

## 【効果検証 (C)】

## ① 重要業績評価指標

指標	指標値	実績(H27)
新規販路契約事業者数 (H27～H31計)	10 社	1 社

※毎年度の調書にはH27からの累計を記入

## ② 事業の成果及び評価

正式な取引に至った企業は1社と少なかったものの、今後取引の可能性がある店舗に対し商品の詳細を説明できたほか、関東圏及び関西圏にある980の飲食店や百貨店に対し本町の特産を紹介し、サンプル品の提供とアンケート調査を行った結果から各商品の可能性を確認するなど、今後の販路拡大等におけるきっかけづくりとすることができた。

(H27実績)

岡田商店 → 居酒屋 羽幌（東京）、蕎麦きり 天笑（大阪）

その他、重原商店、オロロン農協が東京及び大阪方面で、商品に興味を持つ企業等への商談を行っている。

## 【今後の事業予定 (A)】

・今年度新設された羽幌町中小企業等販路拡大事業補助金や、新製品開発支援事業等を活用し、事業者による活性化を支援していく。

基本目標No.1 活発な産業づくりにより元気なまちを創生する。

分類

①チャレンジ(起業・創業・第2創業等)支援事業

施策・事業名

**起業・経営支援**

## 【事業目的・概要】

若年層の起業意欲の促進と、企業経営者の積極的な経営施策に対し支援を行う。

## 【事業内容 (P)】

- ① 相談窓口の開設
- ② 定期的な起業セミナー等の開催
- ③ 起業を応援するための情報発信

## 【事業費 (D)】

## ① 委託料

・食、商工業活性化業務（業務の一部として、事業承継・経営支援セミナーを開催）

※事業費は全業務分

(単位:円)

計画額	事業費(実績)	交付金充当額
8,989,000	6,730,557	6,730,557

## 【効果検証 (C)】

## ① 重要業績評価指標

指標	指標値	実績(H27)
起業創業セミナー参加者 (H27～H31計)	50 人	6 人

※毎年度の調書にはH27からの累計を記入

## ② 事業の成果及び評価

中小企業経営者向けに「中小企業経営者のための事業承継対策」「これからの企業経営」と題した講演を実施したところ、会社経営に携わっている方、後継予定者などの参加が得られたほか、個別相談が行われるなど、一部の企業における円滑な事業継承が期待される。しかし、町内企業を対象に行った事業承継に係るアンケートでは、調査対象企業のうちの半数から「後継者がいない。」という回答が得られたことから、商店街を形成する企業数を考慮した場合、該当企業に対する後継者の育成や町外移入者を招聘する必要性等を検討しなければならない。

## 【今後の事業予定 (A)】

・今後も商工会等の関係機関と連携し、創業塾の開催や創業者支援に係る補助金等の活用促進と掘り起こしに取り組む。

基本目標No.1 活発な産業づくりにより元気なまちを創生する。

分類

①チャレンジ(起業・創業・第2創業等)支援事業

施策・事業名

**6次産業化の推進**

## 【事業目的・概要】

地元で収穫又は水揚げされた地場産品の付加価値向上と効率的な出荷を可能とする加工、保管及び出荷に係るシステムを構築する。

## 【事業内容 (P)】

- ① 新技術（設備）の導入等による地場産品のブランド化
- ② 地産地消や産業間連携の推進支援

## 【事業費 (D)】

## ① 負担金補助及び交付金

・北るもい漁業協同組合（急速冷凍施設、卓上ガスフライヤーの購入）→ 先行型交付金「特産品魅力発信事業」より

※事業費は当交付金事業より

(単位:円)

計画額	事業費(実績)	交付金充当額
4,000,000	3,576,602	3,576,602

## 【効果検証 (C)】

## ① 重要業績評価指標

指標	指標値	実績(H27)
6次産業化取組件数 (H27～H31計)	3 件	1 件

※毎年度の調書にはH27からの累計を記入

## ② 事業の成果及び評価

これまで町有施設を使用し商品開発に取り組んできたエビ籠漁業者が、H28年中に空き店舗（工場）を活用した製造施設の整備に着手する見込みであり、数年かけて取り組んできた成果が実を結びつつある。本取組は、町内のみならず町外の第1次産業従事者の6次産業化に向けた参考事例ともなっており高く評価される。

## 【今後の事業予定 (A)】

・農林漁業の6次産業化助成制度の活用を促進し、地域の特産品を活用した新商品の開発や販路拡大等に支援をしていく。

基本目標No.1 活発な産業づくりにより元気なまちを創生する。

分類

②一次産業就業者等拡大事業

施策・事業名

**農業従事者の創出**

## 【事業目的・概要】

新たな従事者の募集、受入、指導までを一括して行うシステムを構築する。

## 【事業内容（P）】

- ① 新規就農研修生の雇用と受入農家の確保
- ② 受入体制の整備

## 【事業費（D）】

実績なし

(単位:円)

計画額	事業費（実績）	交付金充当額

## 【効果検証（C）】

## ① 重要業績評価指標

指 標	指標値	実績(H27)
研修参加者数（H27～H31計）	5 人	0 人

※毎年度の調書にはH27からの累積数を記入

## ② 事業の成果及び評価

H28以降に手法等を検討予定

## 【今後の事業予定（A）】

・羽幌町農業担い手確保対策協議会を中心に、研修生受入の手法と受入農家や新規参入者への各種助成等について協議・検討する。

基本目標No.1	活発な産業づくりにより元気なまちを創生する。	分類	②一次産業就業者等拡大事業
施策・事業名	<b>1次産業後継者及び新規就業者等の育成</b>		

【事業目的・概要】  
1次産業に従事する若年労働力の育成と定着化により後継者等を確保する。

【事業内容 (P)】

- ① 農地取得等にかかる支援（農業後継者対策事業）
- ② 資機材の整備等に係る支援（漁業新規就業者等育成事業）

【事業費 (D)】

- ① 負担金補助及び交付金
  - ・農業後継者育成事業 6名
  - ・漁業新規就業者等育成事業 2名

(単位:円)

計画額	事業費 (実績)	交付金充当額
2,500,000	3,482,000	0

【効果検証 (C)】

- ① 重要業績評価指標

指 標	指標値	実績(H27)
農水産業における後継者及び新規就業者 (H27～H31計)	20 人	5 人

※毎年度の調書にはH27からの累計を記入

② 事業の成果及び評価

助成事業の実施により農地が放置されることがなく、農業経営の大規模化が図られ、新規就農までは至らないものの労働者の受入先として機能している。また、新規漁業就業者については、経営体から乗組員への事業承継、また、大型漁船の乗組員からの独立などを促すものとして効果が得られている。

【今後の事業予定 (A)】

- ・農業後継者対策となる農地取得及び賃貸借に係る支援は継続して実施する。
- ・新規漁業者に必要な免許の取得及び漁船の買船や建造、漁業機器の購入経費の一部を継続して支援する。

基本目標No.1 活発な産業づくりにより元気なまちを創生する。 分類 ③雇用環境支援事業

施策・事業名 **事業承継と雇用のマッチング**

## 【事業目的・概要】

働きたい人と働く人を必要とする町内企業等のマッチングを図る。

## 【事業内容 (P)】

- ① 従業員（継承者）を必要とする企業等と就労を希望する方の情報集約とマッチング

## 【事業費 (D)】

実績なし

(単位:円)

計画額	事業費 (実績)	交付金充当額

## 【効果検証 (C)】

- ① 重要業績評価指標

指 標	指標値	実績(H27)
マッチング件 (店舗) 数 (H27~H31計)	15 件	0 件

※毎年度の調書にはH27からの累積数を記入

- ② 事業の成果及び評価

H28以降に手法等を検討予定

## 【今後の事業予定 (A)】

・羽幌町雇用促進助成制度の活用を促進し、各種助成制度の情報提供を行い町内企業等のマッチングを図る。



基本目標No.1 活発な産業づくりにより元気なまちを創生する。 分類 ③雇用環境支援事業

施策・事業名 **企業誘致及び異業種間連携**

## 【事業目的・概要】

本町の環境に適した企業の誘致と本町の地場産品や取組に関心のある企業等との連携事業を展開する。

## 【事業内容 (P)】

- ① 工場等の立地に係る意向調査
- ② 工場立地に係る支援（企業振興促進事業）
- ③ 民間企業や各種学校等との連携による新たな雇用の創出

## 【事業費 (D)】

- ① 旅費
  - ・企業訪問等に伴う旅費 68,800 円
- ② 需用費
  - ・試供品等配布等 227,653 円

(単位:円)

計画額	事業費 (実績)	交付金充当額
501,000	296,453	0

## 【効果検証 (C)】

## ① 重要業績評価指標

指 標	指標値	実績(H27)
連携する企業等の数 (H27～H31計)	5 社	2 社

※毎年度の調書にはH27からの累計を記入

## ② 事業の成果及び評価

平成25年12月に本町地場産品を活用した地域活性化を目的に、札幌ヘルエポック製菓調理専門学校、株式会社JT北海道と本町が連携することを約束し、これまで当校学内レストランへの食材提供、本町甘エビまつりへの出店、本町への研修旅行の招聘、インターンシップの受入等を行ってきており、当校及び学生が本町の食材に対する理解を深めている。

## 【今後の事業予定 (A)】

本町の地場産品や取組に関心のある企業等との連携を図る。

基本目標No.1 活発な産業づくりにより元気なまちを創生する。 分類 ③雇用環境支援事業

施策・事業名 **雇用機会の拡充**

## 【事業目的・概要】

既存企業における新規及び正規雇用を拡大する。

## 【事業内容 (P)】

① 常用パート及び新規雇用に係る支援の継続と支援対象者（障がい者）の拡大（雇用促進助成事業）

## 【事業費 (D)】

① 負担金補助及び交付金

・補助金交付対象企業数及び人数 14 社 ( 26 人)

(単位:円)

計画額	事業費 (実績)	交付金充当額
9,960,000	8,880,000	0

## 【効果検証 (C)】

① 重要業績評価指標

指 標	指標値	実績(H27)
新規雇用拡充数 (H31補助決定者数)	20 人	8 人

※毎年度の調書には当該年度の補助決定者数を記入

② 事業の成果及び評価

新規雇用を促す制度として企業等に定着し、実績から一定の効果が生まれている状況にある。今年度をもって同一人に対する補助対象期間が満了となることから、今後における新たな雇用創出を期待したい。

## 【今後の事業予定 (A)】

・今後も、新たに求職者を雇用する者に対し助成を行うことにより、雇用機会の拡大及び雇用環境の充実を図る。

基本目標No.2 多くの人が集い魅力を感じられるまちを創生する。 分類 ①居住拠点整備事業

施策・事業名 既存資源の活用

## 【事業目的・概要】

活用可能な財産を居住拠点及びその資源として有効に活用する。

## 【事業内容 (P)】

- ① 公共施設等解体跡地の宅地としての売却
- ② 空き家対策計画の推進（空き家バンクの運営）
- ③ 民間賃貸住宅情報の提供

## 【事業費 (D)】

ゼロ予算事業

(単位:円)

計画額	事業費 (実績)	交付金充当額
-	-	-

## 【効果検証 (C)】

## ① 重要業績評価指標

指 標	指標値	実績(H27)
空き家利用戸数 (H27～H31計)	30 戸	0 戸

※毎年度の調書にはH27からの累計を記入

## ② 事業の成果及び評価

平成25年度から空き家バンクを実施し登録された空き家については、概ね利用されている状況にある。その後、空き家対策として潜在する利活用可能な空家の掘り起こし等を目的に行った所有者等への調査において「本制度を知らなかった」との回答が得られていることから、周知に対するその改善が必要とされる。

## 【今後の事業予定 (A)】

- ・空き家バンク制度については、毎年度の固定資産税収納通知書を送付する際、本制度の周知文書を同封するほか、空き家対策として維持管理の状態が良い住宅で今後の利活用の予定がないものについては、本制度への登録を促すほか行政としての利活用についても検討していくものとする。
- ・公共施設の解体跡地で宅地として活用可能なものについては、積極的に売り払いを行っていく。

基本目標No.2 多くの人が集い魅力を感じられるまちを創生する。 分類 ①居住拠点整備事業

施策・事業名 **新たな住宅の整備**

## 【事業目的・概要】

公営住宅の建設や単身及び世帯向けなど需要に応じた集合住宅の建設を促進する。

## 【事業内容 (P)】

- ① 公営住宅の計画的な建設
- ② 集合住宅の建設に係る支援（民間賃貸住宅建設助成事業）

## 【事業費 (D)】

- ① 工事請負費
  - ・公営住宅建設工事

(単位:円)

計画額	事業費 (実績)	交付金充当額
67,774,800	33,447,600	0

## 【効果検証 (C)】

## ① 重要業績評価指標

指 標	指標値	実績(H27)
民間賃貸住宅建設戸数 (H27~H31計)	30 戸	13 戸

※毎年度の調書にはH27からの累計を記入

## ② 事業の成果及び評価

- ・公営住宅の建設については、国庫交付金の予算に応じて計画的に整備している。
- ・民間による賃貸集合住宅の整備については、当住宅の整備に係る工事費等の一部を助成する民間賃貸集合住宅整備助成条例を制定し、H28から当住宅の整備を促進する。なお、H27は、以下の集合住宅が整備されたものの既存住宅を含め満室状態にあることから、住宅需要が高いことが理解できる。

※平成27年度民間賃貸住宅整備実績：北大通 1棟4戸、南2条5丁目 1棟9戸 計 2棟13戸

## 【今後の事業予定 (A)】

- ・公営住宅については、今後も計画的に整備していく。【H28・3棟6戸 H29・2棟4戸 H30・2棟4戸 H31・2棟4戸】
- ・民間賃貸集合住宅については、助成制度の周知を図り、民間活力を生かした当該住宅の整備を促進する (H28.5.11現在 1棟4戸建設予定)

施策・事業名

## 魅力ある地域の創出

## 【事業目的・概要】

本町が有する豊かな自然、豊富な食材、地域特性を売りに、知名度向上と交流人口の拡大を図る。

## 【事業内容（P）】

- ① 従事者の意識向上及びコーディネーターやインストラクター等の育成
- ② 観光施設（自然公園（天売島・焼尻島）、道の駅（はぼろ温泉、バラ園））等の整備と適正管理
- ③ 地場産品（甘エビ、うに、めん羊等）や観光資源を活用した観光交流イベントの実施
- ④ 日本唯一の海鳥専門施設「北海道海鳥センター」を核とした自然環境に特化した研究事業等の実施
- ⑤ 焼尻めん羊牧場の安定経営による地域産業としての持続

## 【事業費（D）】

- |              |  |
|--------------|--|
| ① 負担金補助及び交付金 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・羽幌町観光協会補助金</li> <li>・その他～（支部事業、離島プロジェクト、ウニ祭り、めん羊祭り）</li> </ul> |
| ② 需用費        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光施設等の維持に係る修繕料</li> </ul>                                      |
| ③ 工事請負費      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光施設等の維持に係る工事費</li> </ul>                                      |
| ④ 委託料        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・めん羊牧場指定管理料</li> </ul>  |

(単位:円)

計画額	事業費（実績）	交付金充当額
37,732,106	37,732,106	

## 【効果検証（C）】

## ① 重要業績評価指標

指 標	指標値	実績(H27)
イベント満足度（H28～H31平均値）	80 %	調査実績無 %

※毎年度の調書にはH28からの平均値を記入

## ② 事業の成果及び評価

- ・離島における自然環境を生かした新たな体験メニュー構築のため、地元島民がインストラクターの資格を取得し、島内での受入体制の構築を行っている。
- ・訪れる観光客を快く受け入れるための施設整備を行い、事故や大きなトラブルもない施設運営に努めている。
- ・5回目の開催となった「はぼろ甘エビまつり」は、継続実施による口コミの効果やピーターの確保により年々来場者が増加し、地域における経済波及効果は大きく、地元町民からも喜ばれるイベントとして定着している。
- ・ウニまつり、めん羊まつりは、離島での実施であるため天候に大きく左右されるイベントであるものの、受入体制等から現在の来場者数がMAXであると思われる。
- ・焼尻めん羊牧場は、主力商品が生後1年未満のラム肉であるが、母親羊の高齢化に伴い年々その出産頭数が減少傾向にあり、その改善が必要である。

## 【今後の事業予定（A）】

- ・焼尻めん羊牧場では、平成28年度において親羊となるめん羊を本場ニュージーランドから導入し、奇形や出産頭数の減少を抑え、良質な種畜の供給と羊肉の提供に努める。また、草地改良を定期的の実施し、めん羊の健康の維持・増進を図ることにより、安定した生産体制を構築する。
- ・天売島で造成された自然環境を生かした体験観光メニューが今年度から旅行者向けに提供開始されることから、観光客満足度の向上並びにリピートしなくなる観光地としての発展に向け実施事業者並びに観光協会と連携しながらPR事業を実施する。また、羽幌甘エビまつりや天売ウニまつり、焼尻めん羊まつりなど、地域住民による地域資源を活用した観光交流イベントに関しても、知名度の向上と交流人口の増加を図るため、観光協会とも連携を密にしイベント内容の見直しや充実を図りながら継続して実施する。
- また、観光施設に関しては適正な管理を行うとともに施設整備を行う。特に、交流拠点施設である道の駅（はぼろ温泉、バラ園）については、交流人口の拡大を図るため積極的に施設整備（改修）を実施する。

基本目標No.2 多くの人が集い魅力を感じられるまちを創生する。 分類 ②資源活用事業

施策・事業名	<b>情報発信と宣伝普及活動の強化</b>
--------	-----------------------

## 【事業目的・概要】

宿泊者等の町内滞在者及び町外への情報発信に必要な素材の充実と積極的なPR活動を実施する。

## 【事業内容 (P)】

- ① 様々な媒体や機会を活用したPR活動の実施
- ② 広域による都市圏や他地域との交流事業の推進

## 【事業費 (D)】

- |              |               |
|--------------|---------------|
| ① 旅費         | ・職員PR用旅費      |
| ② 需用費        | ・宣伝用消耗品、試供品購入 |
| ③ 役務費        | ・各種手数料、宣伝広告料等 |
| ④ 委託料        | ・事業実施に係る外部委託  |
| ⑤ 負担金補助及び交付金 | ・羽幌町観光協会補助金   |

(単位:円)

計画額	事業費 (実績)	交付金充当額
190,000	138,727	0

## 【効果検証 (C)】

## ① 重要業績評価指標

指 標	指標値	実績(H27)
札幌市近郊及び都市圏を対象とした宣伝事業実施回数 (H31数値)	12 回	5 回

※毎年度の調書には当該年度の実施回数を記入

## ② 事業の成果及び評価

・目的やターゲットに応じ、事業の実施時期を選定しPRの内容を絞り実施しており、集客数や来町者の意見等から効果は高いものと思われる。なお、現在の実施内容が観光PRが主となっているため、時期に応じた内容の変化、実施場所の検討、更にはPR効果の高い手法等を模索しながらの取組が必要である。

※27年度実施内容

5月：札幌駅、札幌市地下歩行空間、北広島市くるの杜、6月：ラジオ (AIR-G)、11月：東京都アイランダー

## 【今後の事業予定 (A)】

・観光プロモーションの目的・場所・時期・内容など様々な要素を精査し、最も効果的と確信できるPRを行う。

基本目標No.2 多くの人が集い魅力を感じられるまちを創生する。 分類 ③スポーツ・文化交流事業

施策・事業名 **誰もが参加できる機会の創出**

## 【事業目的・概要】

健康増進や心の豊かさを育成する事業を実施し、かつ、必要な後継者への伝承活動を実施する。

## 【事業内容（P）】

- ① 各種スポーツ事業の充実
- ② 伝統芸能の普及と伝承

## 【事業費（D）】

- ① 負担金補助及び交付金
  - ・体育協会補助金
  - ・文化協会補助金

(単位:円)

計画額	事業費（実績）	交付金充当額
950,000	950,000	

## 【効果検証（C）】

## ① 重要業績評価指標

指 標	指標値	実績(H27)
社会教育イベント参加者数（H31参加者）	6,200 人	5,213 人

※毎年度の調書には当該年度の参加者数を記入

## ② 事業の成果及び評価

・水泳教室等幼児や小学生を持つ親のニーズに応じた取組が進められ、参加率が伸びているので一定の成果があることが伺えるが、一方で、毎年度同内容のものが長年行われている事業もあるため、ニーズを的確に捉えた事業実施が求められる。

・水泳教室等においては、参加率が伸びていることから参加しやすい環境整備に加え、幼児や小学生を持つ親のニーズに応じた取り組みが進められており、一定の成果があることが伺える。しかし、講師派遣や介護予防講座など、町外事業者のニーズを多く取り入れている傾向があるため、町内事業者のニーズを的確にとらえた事業実施が求められる。

## 【今後の事業予定（A）】

・水泳教室、コーディネーション教室、マラソン2事業、パウダールフェスティバル、各種大会など  
 （毎年度恒例事業は継続して実施予定。その他、新規事業を検討。）

基本目標No.2 多くの人が集い魅力を感じられるまちを創生する。 分類 ④出会いの場提供事業

施策・事業名 出会いの機会への支援

## 【事業目的・概要】

人口ビジョンで明らかにされた比率の高い独身男性に対する出会いのきっかけづくりを支援する。

## 【事業内容 (P)】

- ① 婚活関連事業に係る参加支援

## 【事業費 (D)】

- ① 負担金補助及び交付金

町、J A、協議会からの補助で実施

(単位:円)

計画額	事業費 (実績)	交付金充当額
680,000	680,000	

## 【効果検証 (C)】

- ① 重要業績評価指標

指 標	指標値	実績(H27)
事業参加独身男性数 (H27~H31計)	150 人	5 人

※毎年度の調書にはH27~の参加累計を記入

- ② 事業の成果及び評価

農業青年を対象とした婚活事業を実施（3年目）。都市圏からの参加女性の申込はあるものの、受け入れる農業青年の今後の参加が見込まないためH27をもって本事業は終了する。事業実施時はカップルとなるもののその後の展開がうまくいかないなど、参加者の意識改革等も必要。また、管内市町村による協議会を発足させ、交流事業を実施しており、参加者の確保等から広域による取組効果は高い。

## 【今後の事業予定 (A)】

・参加希望者が減少しているため、管内や都市部の婚活イベントへの参加費用の一部助成を考えている。



基本目標No.2 多くの人が集い魅力を感じられるまちを創生する。 分類 ⑤人材招聘事業

施策・事業名 地域おこし協力隊事業

## 【事業目的・概要】

都市圏等他地域から本町で必要とされる新たな人材を招聘する。

## 【事業内容 (P)】

① 地域おこし協力隊事業

## 【事業費 (D)】

① 報酬	9,040,000 円	・協力隊報酬
② 旅費	2,036,755 円	・協力隊旅費
③ 需用費	191,785 円	・協力隊活動用材料等購入
④ 役務費	238,388 円	・輸送費等
⑤ 委託料	911,600 円	・コーディネーター料等
⑥ 使用料及び賃借料	1,036,128 円	・車両借上料等
⑦ 備品購入費	56,490 円	・備品購入
⑦ 負担金補助及び交付金	282,430 円	・講習会受講料等

(単位:円)

計画額	事業費 (実績)	交付金充当額
17,752,000	13,793,576	0

## 【効果検証 (C)】

① 重要業績評価指標

指 標	指標値	実績(H27)
協力隊員定住率 (H31数値)	60 %	- %

※毎年度の調書には当該年度末の数値を記入

② 事業の成果及び評価

H27年は4名が活動していたものの、うち2名は諸事業によりH27中に退職。しかし、他の2名は委嘱期間満了となる3年経過後を目論み、拠点となる地域に必要な取組を生業とする活動を行っており、定住者となることが期待できる。

※～H27までの協力隊採用数4名、H28.5.10現在協力隊2名、委嘱期間満了後の定住者0名

## 【今後の事業予定 (A)】

継続して応募を実施し、生徒募集事業の取り組みを通じて定住の促進を図る。

- ※ H28年に2名の応募を実施したが、現時点で2名の問い合わせがある状況であり、現在、調整中である。
- ・平成28年度については、天売高校関係2名・福祉関係（天売1名・焼尻1名）の4名を募集し採用予定。
  - ・現隊員の起業及び定住を目指した取組に対する財政的支援及び助言を行い、定住者となるよう努める。
  - ・離島における高齢者福祉対策のための人材、天売島における高等学校生徒募集を担う人材を引き続き募集し、新たな人材を確保に努めるとともに、当該人材の定住を図る。

基本目標No.3	子育てのしやすい優しいまちを創出する。	分類	①シングルマザー支援事業
施策・事業名	シングルマザーの転入誘致		

## 【事業目的・概要】

子育てしやすい環境を創出し、シングルマザーの転入を促進するための受け皿を構築する。

## 【事業内容 (P)】

- ① 各種支援制度の構築と居住環境の整備

## 【事業費 (D)】

ゼロ予算

(単位:円)

計画額	事業費 (実績)	交付金充当額

## 【効果検証 (C)】

- ① 重要業績評価指標

指 標	指標値	実績(H27)
受入体制構築度 (H31数値)	100 %	0 %

※毎年度の調書には当該年度末の構築度を記入

- ② 事業の成果及び評価

・関係課の連携により、モデル事業として次の内容によるシングルマザー1名を受入ること調整済

- 受入住宅：単独住宅（夕陽が丘団地 3階） ● 就労先：羽幌町社会福祉協議会（老人ホーム又はデイサービス）
- 受入対象：募集時点で留萌管外に居住し、高校生以下の子どもが1名以上いる40歳未満のシングルマザー

## 【今後の事業予定 (A)】

- ・受入住宅に空きが出た時点で募集を開始する。なお、モデル事業で受入れた方や現在町内に居住するシングルマザーの意見等を聴取し受入体制を検討する。
- ・当該女性の悩み相談や受入れを担う窓口を整備する。



基本目標No.3 子育てのしやすい優しいまちを創出する。

分類

②子ども・子育て支援拡充事業

施策・事業名

**子育て環境の支援**

## 【事業目的・概要】

子育て世代が望む時代にあった子育てのしやすい環境を整える。

## 【事業内容（P）】

- ① 子育て世代の誰もが望む集いやすい環境の整備
- ② 相談（発達、育児等）及び保育機能等（一時預かり、遊びの場の提供等）の充実
- ③ 子ども達に係る医療費の負担軽減

## 【事業費（D）】 ※積算根拠あり

- |              |             |     |            |
|--------------|-------------|-----|------------|
| ① 負担金補助及び交付金 | ・認定こども園運営支援 | 実績額 | 80,904,000 |
|              | ・私立幼稚園運営支援  | 実績額 | 3,768,000  |
| ② 羽幌保育園運営事業  |             | 実績額 | 13,948,000 |
| ③ 扶助費        | ・中学生以下医療費   | 実績額 | 15,185,272 |
| ④ その他        | ・一時預かり      | 実績額 | 8,586,000  |

(単位:円)

計画額	事業費（実績）	交付金充当額
144,710,000	122,391,272	0

## 【効果検証（C）】

## ① 重要業績評価指標

指 標	指標値	実績(H27)
子育てしやすい満足度（H31数値）	50 %	- %

※毎年度の調書には数値記入不要（31年度に町民向けアンケートを実施予定）

## ② 事業の成果及び評価

- ・待機児童がないほか、認定こども園、私立幼稚園の特色ある取組により、幼年時教育に対する保護者の需要が満たされている。
- ・乳幼児の発育に係る相談等をこまめに実施し、保護者の不安解消に努めているほか、中学生以下の医療費無償制度についても、子育てする保護者の経済的支援の一端を担っている。

## 【今後の事業予定（A）】

- ・児童福祉施設の適切な指導運営管理の継続した体制の推進。
- ・子育て支援センターを核とし、悩み相談など地域に根差した子育て支援事業展開の実施。
- ・幼児施設利用料への助成や中学生以下の医療費無償化の実施など、子育て保護者への経済的支援の確実な推進。

基本目標No.4 住み続けたいと思うまちを創生する。

分類

①高等学校魅力向上事業

施策・事業名

**地元高校への進学者確保**

## 【事業目的・概要】

地元高等学校の魅力向上と通学しやすい環境作りに努め、町内外からの進学者を確保する。

## 【事業内容（P）】

- ① 高等学校の魅力化支援
- ② 高等学校進学に係る経済的支援
- ③ 奨学金制度の拡充
- ④ 道内外中学校等に向けた宣伝 P R

## 【事業費（D）】

- |                |                     |              |
|----------------|---------------------|--------------|
| ① 負担金補助及び交付金   | 4,000,000円          | ・高等学校振興会等補助金 |
| ② 貸付金          | 960,000円（H27年度4名貸付） | ・羽幌町奨学基金     |
| ③ 天売高等学校生徒募集事業 | 1,934,321円          |              |

(単位:円)

計画額	事業費（実績）	交付金充当額
8,373,000円	6,894,321円	0円

## 【効果検証（C）】

## ① 重要業績評価指標

指 標	指標値	実績(H27)
町内中学生の町内高校への進学率（H31数値）	80 %	71 %

※毎年度の調書には当該年度末の実績値を記入

## ② 事業の成果及び評価

- ・天売高校の生徒確保のため、道内外の中学校をくまなく訪問し当該校の P R による生徒募集を行ったところ、地元以外から 2 名の新入生を受け入れ、定時制高校であることから若年層の労働力の確保に努めることができた。今後は、新たに島外から生徒を受け入れる場合の住宅や雇用対策等が必要である。
- ・本町以外から羽幌高校への進学を希望する生徒が減少傾向にあるため、通学に係る保護者負担を軽減する制度及び地元高校へ進学する際に生じる経済的負担を軽減する新たな制度を創設したところ、前年度とほぼ同数の新入生を確保することができた。

## 【今後の事業予定（A）】

- ・天売高校:住宅や雇用対策等の課題解決と併せて、継続した生徒募集を行う。
- ・羽幌高校:進学に係る経済的負担を軽減する制度の継続と新たな魅力の検討を行う。

基本目標No.4 住み続けたいと思うまちを創生する。

分類 ②学校外活動充実事業

施策・事業名 **児童生徒の学ぶ機会の充実**

## 【事業目的・概要】

学習や体験学習の場の充実及び拡大を図り、魅力ある学びを提供するとともに郷土愛を育む校外活動を促進する。

## 【事業内容 (P)】

- ① 子ども自然教室事業
- ② ジュニアレンジャー事業

## 【事業費 (D)】

- ① 子ども自然教室事業
- ② ジュニアレンジャー事業

(単位:円)

計画額	事業費 (実績)	交付金充当額
234,000	171,239	

## 【効果検証 (C)】

## ① 重要業績評価指標

指 標	指標値	実績(H27)
自然教室平均参加率 (H31)	65 %	50 %

※毎年度の調書には当該年度末の実績値を記入

## ② 事業の成果及び評価

・自然教室については、学校授業以外の学習の機会として毎年定員以上の申込みがあることから、自然を親しむ機会を望む児童及びその保護者の要求を満たしている人気事業であることが理解できる。一方でジュニアレンジャーについては、複数年にわたる継続した取組となり他の習い事との重複が難しいことから参加者が減少傾向にあり、自然教室の中に本活動を取り込むなど検討が必要と思われる。

・ジュニアレンジャーは、月1回の行事の他、海鳥センターを拠点とした放課後や休日の、日常的なボランティア活動などを通して、地域の自然環境をより深く理解し、自然環境を守る意識を醸成するなど、子どもの環境学習の場として、一定の成果があったと考えられる。しかしながら、参加者の減少などにより、同様の事業としての継続が難しいことから、現在は事業を休止している。

## 【今後の事業予定 (A)】

・より多くの児童に参加の機会を提供し、天売島の海鳥など地域の特色ある自然環境への理解を広げるための学習の場として、「こども海鳥観察会」など小中学生を対象とした環境学習行事を開催する。行事を通して、参加した児童に自然環境についてより深く学習したいという意欲や機運が高まれば、ジュニアレンジャー活動の再開などを検討する。

・サイクリング、地引網体験、宿泊体験、町外研修、自然環境学習、異世代交流など

基本目標No.4 住み続けたいと思うまちを創生する。

分類

③人材育成事業

施策・事業名

人づくり事業

## 【事業目的・概要】

地域活動等に従事する町民の中から将来のまちづくりを担う人材を育成するとともに、地域医療を支え志す将来の医療従事者（人材）を育成する。

## 【事業内容（P）】

- ① 研修活動等に係る支援（人づくり事業）
- ② 地域医療に従事する看護師等の育成（助産師・看護師確保対策事業）

## 【事業費（D）】

- ① 負担金補助及び交付金 977,000円
- ② 貸付金 2,400,000円

(単位:円)

計画額	事業費（実績）	交付金充当額
5,700,000	3,377,000	0

## 【効果検証（C）】

## ① 重要業績評価指標

指 標	指標値	実績(H27)
補助決定件数（地域活動）（H27～H31計）	50 件	6 件
貸付決定件数（医療従事）（H27～H31計）	10 件	4 件

※毎年度の調書にはH27からの累計を記入

## ② 事業の成果及び評価

・自らの教養を高め後進等の指導に生かすほか、多くの町民が参加できる講習会等の機会を提供するなど、将来のまちづくりへ寄与するとされる活動への支援制度であり、毎年度の利用件数にバラツキはあるものの申請内容及び実績等から効果が高いとされる。今後も町民が活用しやすい制度となるよう検討する。

## 【今後の事業予定（A）】

- ・町内医療機関の助産師・看護師確保のため、今後も支援を継続する。
- ・平成28年度より、将来のまちづくりを担う青少年に対する支援の対象範囲を拡大し、活用の促進を図るほか、今後も制度の改正を検討しながら支援を継続する。
- ・制度の周知を図り利用率の向上に努めるとともに、必要に応じて制度改正も検討する（人づくり事業補助金については一部制度を拡充）

基本目標No.4 住み続けたいと思うまちを創生する。

分類 ④コミュニティ醸成事業

施策・事業名 **若年層の学習及び交流機会の充実**

## 【事業目的・概要】

若い世代の余暇活動の充実に努める。

## 【事業内容 (P)】

- ① 若年層を対象とした社会教育事業

## 【事業費 (D)】

- ① 成人教育講座
- 
- ② その他講座

(単位:円)

計画額	事業費 (実績)	交付金充当額
352,000	161,286	

## 【効果検証 (C)】

- ① 重要業績評価指標

指 標	指標値	実績(H27)
事業実施回数 (H31数値)	7 回	7 回

※毎年度の調書には当該年度の実施回数を記入

- ② 事業の成果及び評価

・若年層が参加しやすいメニューにより講座を開催するも当該世代の参加が見込めなかったため、ニーズ等を聞き取りした上でのメニューの再考等が必要と思われる。

## 【今後の事業予定 (A)】

・ガーデニング教室、エコクラフト手芸教室、陶芸教室、竹細工教室、クリスマスリース教室、トルペイント教室、姿勢美人教室、パステルアート教室、ハーブプランター教室、ノルディックウォーキング教室など



基本目標No.4 住み続けたいと思うまちを創生する。

分類 ⑤福祉環境充実事業

施策・事業名 **介護向け人材の育成**

## 【事業目的・概要】

高齢社会に向けた人材の育成及び確保に努める。

## 【事業内容 (P)】

- ① 高校生と介護職員の交流事業
- ② 介護知識向上のための研修会等の開催
- ③ 介護職員の給与等の底上げの実施

## 【事業費 (D)】

ゼロ予算

(単位:円)

計画額	事業費 (実績)	交付金充当額

## 【効果検証 (C)】

## ① 重要業績評価指標

指 標	指標値	実績(H27)
交流会及び研修会実施回数 (H31数値)	2 回	3 回

※毎年度の調書には当該年度末の実績値を記入

## ② 事業の成果及び評価

・具体的な実施手法等についてはH28以降に検討。なお、介護職員の処遇に影響する資格取得等に要する支援をH27年中に制度化した。

## 【今後の事業予定 (A)】

・資格取得支援制度の見直し(ブラッシュアップ)を行いつつ、研修会等については今後も継続的に実施したい。将来的な人材確保を図る為、日々変わっていく現状実態に合わせ、掲げた事業メニューに囚われることなく、超高齢化社会到来に備えるため、今後も柔軟に実施手法を検討していきたい。当面28年度においては、介護職員の給与実態を分析し、新卒者の就職率向上に向けた方策を検討したい。

基本目標No.4 住み続けたいと思うまちを創生する。

分類

⑤福祉環境充実事業

施策・事業名

高齢者向け生きがい対策

## 【事業目的・概要】

高齢者の居場所、活躍の場の確保に努める。

## 【事業内容（P）】

- ① 老人クラブ活動事業

## 【事業費（D）】

- ① 負担金補助及び交付金 老人クラブ連合会補助

(単位:円)

計画額	事業費（実績）	交付金充当額
820,000	820,000	0

## 【効果検証（C）】

- ① 重要業績評価指標

指 標	指標値	実績(H27)
老人クラブ組織数（H31数値）	9 団体	9 団体

※毎年度の調書には当該年度末の組織数を記入

- ② 事業の成果及び評価

・高齢者が集い生きがいや健康づくりに活発に取り組む老人クラブの活動を支援することで、明るい長寿社会づくりが図られている。

## 【今後の事業予定（A）】

・組織数維持及び新規会員の勧誘への助言指導の推進。

基本目標No.4 住み続けたいと思うまちを創生する。

分類 ⑥小 さなまちづくり事業

施策・事業名 **公共施設の適正管理**

## 【事業目的・概要】

保有する公共施設の老朽度や利活用状況に応じて、当該施設や関連地域の在り方を見直し、町民サービスの維持又は向上に努めるもの

## 【事業内容 (P)】

- ① 公共施設マネジメント事業の推進

## 【事業費 (D)】

- ① 委託料 公共施設マネジメント計画の策定

(単位:円)

計画額	事業費 (実績)	交付金充当額
3,986,000	3,985,200	

## 【効果検証 (C)】

- ① 重要業績評価指標

指 標	指標値	実績(H27)
計画に基づく事業進捗率 (H31数値)	100 %	- %

※毎年度の調書には当該年度末の数値を記入

- ② 事業の成果及び評価

・公共施設マネジメント計画のH28策定に向け、現在、作業中。

## 【今後の事業予定 (A)】

・公共施設の「診断マニュアル」と「点検シート」の作成 … 職員による施設点検 (劣化診断) 技術の向上と点検・評価方法の基準統一を図り、M計画に基づく施設管理の運用ルールを整理することで、事業の進捗を円滑にする。